

第36回まさき文化祭

まさき文化祭は10月29、30の両日、松前総合文化センターを主会場に開催され、大勢の人が芸術の祭典を楽しみました。



満面の笑顔でジャズ体操を披露した子どもたち

上_力作が並んだ作品展。2日間で大勢の人が訪れました



上_神崎の獅子は客席へ。あまりの迫力に子どもたちは後ずさり
右_はる風グループは加工食品など販売



上_毎年恒例になってきたバルーンアートのミントさん。すご技と楽しいおしゃべりに集まる子どもたち

左_舞踊でありながら、モダンな衣装で軽快なステップを踏み、ダンスのような演技を披露した伊予民踊の「ベイサイドブギ」
下_力強い唄で観客を魅了した「石投甚句」



右_和太鼓の演奏前に元気いっぱい曲紹介をした鼓太郎教室の子どもたち。会場からは「かわいい」の大合唱。



10時30分、庁舎前特設ステージでオープニングセレモニーが行われ、文化祭は開幕。ステージでは▼獅子舞競演会▼ちんどん屋パフォーマンス▼ゴスペルライブーなど、多彩なイベントが行われ、祭りを彩りました。
特設ステージ周辺にずらりと並んだテントでは、またまえ町の特産品のほか、地元の特産品や手作りの食品などが販売され、2日間とも朝早くから大勢の人でにぎわいました。

文化センター広域学習ホールで行われた芸能発表会には、延べ596人が参加。伊予万歳、コーラス、ジャズ体操など、町内で活躍するさまざまな団体による発表の数々が、2日間会場を沸かしました。
文化センター各フロアで行われた作品展示会には、愛好家による絵画、手工芸や写真など2177点の作品が集結。個性あふれる作品の数々は、訪れた人の心を揺さぶりました。
「2011はじける!とび出す!響きあう!まさき文化の大合唱」をテーマに開催された今年の「まさき文化祭」。そのテーマの通り、演技や作品を披露した人、舞台裏で支えた人、参加した人など、全ての人の想いが響き合っており、まさきの文化の輪を大きく広げました。



右_満田泰三文化協会会長も見事な伊予万歳を披露

右_フィナーレでは、出演者やスタッフがステージに集まり、観客と一緒に「上を向いて歩こう」を合唱



上_息びつりの太極拳を披露した皆さん 左_美しいハーモニーで会場を包んだ岡田カトレアコーラス

